

バドミントン未来創造アカデミー生募集のご案内

東京 2020 に向けてわたしたちの代表選手は、みなさんの応援を受け、好調です。昨年開催された世界国別対抗戦では、女子は 37 年ぶりにユース杯を日本に持ち帰り、男子も前回（2014 年）のトマス杯優勝に続く決勝進出で、史上初の男女ダブル優勝に挑みました。今後の更なる躍進を予感させる堂々たる戦いぶりに、多くのバドミントンファンが興奮し、今年のスディルマン杯に期待がさらに膨らみました。

もっと多くの人に、バドミンントンの魅力を知ってもらいたい！ あらためてそう思った方も多はずです。しかし、バドミンントンをプレーしている 15 歳以上の男女は人口の 7.5%、その人たちの一年間のプレー回数は 12.8 回に過ぎません（レジャー白書 2017）。さらに、「バドミンントンを見てみたいという人」は 2.5%で、この中には先のプレー人口 7.5%の相当数が含まれているものとみられます（読売新聞世論調査 2013）。

バドミンントン界の盛り上がり的一方、国民の人気や関心という点では、まだまだバドミンントンは広く根を張っているというわけにいかず、一部の根強いファンによって支えられている段階にあると言えるでしょう。その意味では開拓の余地が非常に大きいスポーツ、それがわたしたちのバドミンントンです。

来年、2020 年に日本で開催されるオリンピックとは、他の国際大会などとは異なり、オリンピズムなるオリンピック特有の理念を追求するムーブメントの頂点に位置するものです。スポーツによって人々の生き方、社会のあり方を、さらにより良いものに高めようとするのがオリンピズムです。バドミンントンをオリンピズムの普及浸透のツールとして活かすことで、オリンピック・ムーブメントの推進に貢献するが求められます。東京 2020 はそのチャンスです。

日本バドミンントン協会としては、バドミンントン発展のための文化創造に貢献し、また、オリンピズムの浸透にも寄与できる人材の育成を急務ととらえ、これを推進すべく、《バドミンントン未来創造アカデミー》を昨年度に引き続き実施します。

本アカデミーによって育成される人材が、バドミンントン界における東京オリンピックのレガシー（遺産）となり、バドミンントン界の新たなリーダーとしてその活躍が大いに期待されます。

実施募集要項をご覧ください、奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

公益財団法人日本バドミンントン協会